

令和5年度 岐阜県立飛騨高山高等学校全日制 学校評価アンケート結果及び分析
保護者及び学校運営協議会委員（7月実施）

対象数	回答数	回答率
806	619	76.8%

次の項目について、A～Eの該当する欄に○をつけてください。

- A よくあてはまる
- B ややあてはまる
- C あまりあてはまらない
- D まったくあてはまらない
- E わからない

ABを肯定的評価、CDを否定的評価とする。番号は本年度の質問項目の番号である。

【肯定的評価ABの上位項目】

番号	項目	本年度	昨年度
11	一斉配信メール（すぐメール）は有効に活用されている。	96%	97%
33	お子様を本校に入学させて良かったと思っている。	93%	なし
3	お子様は、喜んで学校へ行っている。	91%	93%
1	学校の教育方針である「『快活』『友愛』『創造』を校訓とし、心身ともに健やかで、より豊かな人間性と『生きる力』を備えた生徒の育成を目指す」に共感できる。	90%	90%
<p>〈分析〉本年度、肯定的評価が80%を超えた項目は33項目中15項目で45%であった。（昨年度は37項目中34項目で92%だった。）しかしながら33, 3, 1番が90%以上なので基本的には保護者は本校の教育活動を肯定的に捉えていると考えてよいのではないかと。</p>			

【否定的評価CDの上位項目】

番号	項目	本年度	昨年度
31	お子様は、進路に関する情報収集等を意欲的に行い、主体的に進路について考えている。	26%	14%
6	学校からの文書等は、保護者（地域）に確実に届けられている。	20%	12%
5	学校は学校の教育方針や指導の内容を保護者（地域）に分かりやすく伝えている。	13%	10%
12	学年等から発行されている「通信」をとおして、主体的に進路を選択し、決定できる能力の育成を図っている。	11%	6%
<p>〈分析〉31番は昨年度と少し内容を変えたが、基本的にはほぼ同じ内容である。これについては生徒が主体的に進路について考えるようになるには教員はどう指導したらよいかを考える必要があるのではないかと。5, 6番については確実に伝えたい内容や届けたい文書はその旨を「すぐメール」で知らせる、12番は主体的に進路決定ができる能力を養うような「通信」の内容を考える。</p>			

【否定的評価上位項目】には入らなかったが肯定的評価ABが70%未満の項目

番号	項目	本年度	昨年度
29	学校は、ボランティア活動の大切さを教えると同時に、その機会を提供している。	62%	76%
21	学校は、いじめや差別を許さず、厳しく対応している。	63%	81%
18	学校は授業や家庭学習への指導・支援等を通して一人一人の能力に応じた指導を行っている。	66%	85%
16	学校は、体罰の防止に努めている。	67%	76%
<p>〈分析〉まず、これらの項目はいずれも「E わからない」の割合が高い。29番は32%、21番は31%、18番は24%、16番は29%である。保護者が評価するには難しい項目だったのかもしれないが、特に21, 18, 16番は学校教育の根幹に関わることなので、学校で行っていることについて保護者に知ってもらう方策を考えるべきではないかと。</p>			